

授業科目

小児看護学演習

担当教員名 坪川 麻樹子、松井 由美子、安藤 萌	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

小児看護に必要な技術について講義・演習を通して学習する。また子どもの権利を尊重するための技術としてプリパレーションやディストラクションの方法を学ぶ。入院している子どもの看護過程をグループで検討し発表する。

授業の目的

子どもとその家族の日常生活援助や治療・検査・処置に伴う援助を実施するために必要な知識・技術・態度を修得する。子どもの成長発達上の特性をふまえて、具体的な実践方法を学んでいく。演習においては、子どもの権利を尊重した接し方についても学習する。

学習目標

1. 子どもとその家族の援助の方法について特徴と留意点をのべられる。
2. 子どもにとっての環境の重要性を認識できる。
3. 子どものフィジカルアセスメントの方法について述べられる。
4. 子どものフィジカルアセスメントをモデル人形を使った演習で正確に実施できる。
5. 子どもの診療や日常生活の援助技術の方法を述べられる。
6. 子どもの診療や日常生活の援助技術をモデル人形を使った演習で安全に実施できる。
7. 子どもの応急処置と救急蘇生法を説明できる。
8. 子どもの応急処置と救急蘇生法を演習で体験できる。
9. 子どもの権利や尊厳を守る意義を理解し、意識付けることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業ガイダンス・グルーピング	講義・GW	坪川 麻樹子
2	子どもの援助関係形成と環境調整	講義	坪川 麻樹子
3	気管支喘息の子どもへの看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
4	気管支喘息の子どもへの看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
5	川崎病の子どもへの看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
6	川崎病の子どもへの看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
7	重症心身障害児への看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
8	重症心身障害児への看護	講義・演習・GW	坪川 麻樹子 他
9	第1回演習「気管支喘息を持つ子どもへの観察と対応」	演習	坪川 麻樹子 他
10	第1回演習「気管支喘息を持つ子どもへの観察と対応」	演習	坪川 麻樹子 他
11	第2回演習「川崎病を持つ子どもへの観察と対応」	演習	坪川 麻樹子 他
12	第2回演習「川崎病を持つ子どもへの観察と対応」	演習	坪川 麻樹子 他
13	第3回演習「小児の救急蘇生法」	演習	坪川 麻樹子、外来講師 他
14	第3回演習「小児の救急蘇生法」	演習	坪川 麻樹子、外来講師 他
15	グループワーク発表・まとめ	発表・講義	坪川 麻樹子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間 美保、丸 光恵 他	医学書院	2015年	2,800円+税	
	小児臨床看護各論	奈良間 美保、丸 光恵 他	医学書院	2015年	3,300円+税	
	根拠と事故防止から見た小児看護技術	浅野みどり	医学書院	2016年	4,000円+税	

参考書						
その他の資料						

評価方法

演習(80%程度)、グループワーク発表・レポート(20%程度)

履修上の留意点

積極的にグループワークや演習に参加し、実習までの課題を明確にしておきましょう。

オフィスアワー・連絡先

tubokawa@nuhw.ac.jp

研究室：K408号室

オフィスアワー：木曜午前中

授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。